

平成 31 年 1 月 吉日

会員各位

一般社団法人宮城県作業療法士会

会長 道又顕

地域支援部長 小野寺泰弘

認知症の人の生活支援参画推進チーム班長 荒谷里美

一般社団法人 宮城県作業療法士会地域支援部 認知症の人の生活支援参画推進チーム主催
「第 4 回認知症アップデート研修会」のご案内

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび当士会 企画管理局 地域支援部 認知症の人の生活支援参画推進チームでは、上記研修会を開催いたします。

以前に本研修会のご案内をさせていただきましたが、諸事情により研修会会場を変更とさせていただきます。皆様には大変ご迷惑をお掛け致しますが何卒よろしくお願い致します。

現在、日本においては団塊の世代が 75 歳以上となる 2025 年を目途に「住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることが出来る」地域包括ケアシステムの構築が進められております。急速な高齢化に伴い認知症高齢者の増加も見込まれており、宮城県においても各市町村で「安心して生活が続けられる地域づくり」に向けた取り組みが開始されています。当士会宛てにも様々な派遣依頼が入ってきており、今後ますます増加することが予想されます。

本研修会は、新オレンジプラン（認知症施策推進総合戦略）の 7 つの柱を理解し、地域包括ケアシステムに貢献できる作業療法士の育成を目的に、協会で推奨している「認知症アップデート研修会（昨年度と今年度に仙台市、大崎市を会場に 3 回開催）」と県士会で設定している研修会システムの一環として行うものです。今回は、認知症の基礎的知識や情報を盛り込んだ内容の〈基礎編〉、事例検討や実践報告を中心とした〈応用編〉の二部構成で行います。尚、この研修会体系の受講状況を当士会の一つの派遣指標として活用させて頂く予定です。より多くの県士会員皆様にご参加頂きたく、何卒宜しくお願い致します。

敬具

記

日程 : 平成 31 年 2 月 3 日(日) 9 時 30 分～16 時
〈基礎編〉 9:30～14:00 (受付 9:00～9:30) 〈応用編〉 14:10～16:00 (受付 13:30～14:00)

会場 : 宮城県作業療法士会事務局
仙台市青葉区二日町 18-25 シャルム二日町 603 号室
*駐車場は近隣のコインパーキングをご利用ください。
最寄り駅は仙台市地下鉄南北線「北四番丁駅」です。

講師 : 〈基礎編〉
山田孝弘 (西仙台病院)、中里和史 (仙台クローバークリニック)、三浦慶司 (齋藤病院)、
白戸千愛 (特別養護老人ホーム和風園) 〈応用編〉 齋藤貴子 (介護老人保健施設希望の杜)、
荒谷里美 (広南病院)

講義内容 : 〈基礎編〉

世界及び日本における認知症の課題、認知症の障害の本質と認知症原因疾患への理解、行動・心理症状の原因・背景及び障害構造の理解、認知症におけるアセスメントとマネジメント

〈応用編〉事例検討（グループワーク）、実践報告（認知症カフェ・仙台市認知症初期集中の取り組みについて）、多職種の実践（地域における生活支援・地域包括支援センターについて）

参加対象 : 宮城県作業療法士会会員(30名)

参加費 : 1日参加 4000円、応用編のみ 1500円

※今回初めて「認知症アップデート研修会」に参加される方は、原則1日参加とします。

※これまで「第1～3回認知症アップデート研修会」に参加された方は、今回の研修会で「応用編」のみの参加も可能です。

単位認定 : 基礎ポイント 2P、県士会より受講修了証発行

申込み方法 : 県士会 HP の web 申し込みよりお申し込みください。(締切：平成 31 年 1 月 25 日 (金))

注意事項 : ○原則 1 日参加とします。基礎編を受講されていない方は応用編の受講はできません。

○「宮城県作業療法士会 企画管理局 地域支援部 研修会システム ⑤ 認知症の人の生活支援人材育成」は「基礎編・応用編」の受講をもって終了となります。平成 29 年 5 月 20 日開催の「第 1 回認知症アップデート研修会」を受講された方は「基礎編」のみ受講終了となっており、「応用編」の受講が必要となりますので、今回開催の「応用編」の受講をお願い致します。

○お申込みは下記の間合先からは出来ませんのでご注意ください。

○定員となり次第締め切らせていただきます。連絡がなければ参加可能です。

問合先 : →東北福祉大学 伊藤明海 (akemi-i@tfu-mail.tfu.ac.jp)

※こちらからはお申し込みできません。